

量子科学技術研究開発機構（QST）の

「座位型脳PET画像補正法の開発」に参加された方へ

量子科学技術研究開発機構では、臨床研究法に基づく特定臨床研究として「高精度頭部用PETによる脳機能変化の探索的研究」という研究を行っています。健常ボランティアの方と高次脳機能障害が疑われる方を対象に、QSTで開発した頭部用PETにより脳糖代謝画像などを得ることで、画像上に従来型PETでは抽出されない何等かの所見がないか探索的に調べることを目的としています。その際、過去に実施した「座位型脳PET画像補正法の開発」で得られたPET画像も用いて比較することが有用であると考え、本研究でも使用させていただきます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

〔研究課題名〕 高精度頭部用PETによる脳機能変化の探索的研究

〔実施期間〕 JRCT公表日～2030年3月31日

〔研究機関〕 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
分子イメージング診断治療研究部

〔研究責任医師〕 高橋 美和子

〔研究の目的〕 健常ボランティアの方と高次脳機能障害が疑われる方に対し、頭部用PETを用いた脳糖代謝画像などを調べることで、従来型のPETでは描出されなかった早期所見候補の探索を行うこと。

〔研究の方法・データの利用方法〕

●対象となる方々

2021年5月13日～2023年3月31日に実施された「座位型脳PET画像補正法の開発」に参加され、データの二次利用に同意している方

●利用する情報及び利用方法

QSTに保管されている「座位型脳PET画像補正法の開発」で得られたPET画像を、情報取り扱いにおいて安全管理された電子システムから収集します。新たな質問や検査はありません。

〔個人情報の取り扱い〕

他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工済のデータを、厳重な管理下において研究に使用します。

（研究機関における個人情報保護の規則に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2027年12月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。それ以降のお申し出であっても可能な限りデータを取り除きますが、個人情報と切り離されて解析に使われてしまったデータは取り除けないことがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

〔問い合わせ先：窓口〕千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所

分子イメージング診断治療研究部 高橋 美和子

電話：043-206-4074（平日9:00～17:00）